

2024 年 10 月 4 日

<配布先> 京都大学記者クラブ、NEWSCAST

京都外国語大学で日系カナダ移民に関する展示会
BROKEN PROMISES 破られた約束
～太平洋戦争下の日系カナダ人～

■ ■ 太平洋戦争下の日系カナダ人について学び、世界平和について考える ■ ■

京都外国語大学（京都市右京区、学長：小野隆啓 以下 本学）は、企画展示「BROKEN PROMISES 破られた約束」を10月1日（火）から10月16日（水）にかけて実施。

「PAX MUNDI PER LINGUAS 一言語を通して世界の平和を」を建学の精神に掲げる本学で、第2次世界大戦期の日系カナダ人の一人ひとりの物語や当時の情勢について学ぶことで、今後の世界の平和について考える。

また、本学はカナダへ移民を多く送り出した和歌山県美浜町と連携協定を締結しており、美浜町で町の活性化などに貢献する活動を行っている学生たちの活動や、京都府立大学松田法子研究室監修・制作の「三尾の民家建築とカナダ移民」に関する研究成果についても同時展示する。

「BROKEN PROMISES 破られた約束」は、日系カナダ人の没収財産の全記録「敵性財産資産管理局」関連の公文書をデジタル化してインターネット公開した、カナダのビクトリア大学の研究プロジェクト「不正義の風景（[Landscapes of Injustice](#)）」の研究成果をもとに、バンクーバーにある「カナダ日系博物館（[Nikkei National Museum](#)）」が制作した博物館展示である。

本学国際貢献学部グローバル観光学科 河上幸子教授が代表を務める科研共同研究の一環として組織された「BROKEN PROMISES 破られた約束」日本巡回展示実行委員会（和泉 真澄 同志社大学教授／河原 典史 立命館大学教授／河上 幸子本学教授）がコーディネートをを行い、滋賀県平和祈念館、カナダ・ミュージアム（和歌山県美浜町）での開催に次いで、本学と同志社大学にて実施する。

【展示概要】

日時 2024 年 10 月 1 日（木）～10 月 16 日（水）

場所 京都外国語大学 1 号館 1 階南側通路（京都市右京区西院笠目町 6）

同時展示 「Soyokaze～三尾からカナダへ、100 年先につづく物語～」

京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科河上ゼミ「そよかぜ班」展示

「三尾の民家建築とカナダ移民」（監修・制作：京都府立大学松田法子研究室）

主催 「BROKEN PROMISES 破られた約束」日本巡回展示実行委員会

共催 科学研究費基盤研究（B）「出移民史を通じた次世代育成のための地域密着型パブリック・ヒストリーの構築」（研究代表者：河上幸子（京都外国語大学 国際貢献学部グローバル観光学科 教授））

同志社大学アメリカ研究所部門研究 3 「Transient Subjects/Unsettled Settlers」

協力 京都外国語大学、同志社大学、特定非営利活動法人日ノ岬・アメリカ村、美浜町役場

備考 本学での展示後、11 月 22 日～12 月 24 日まで同志社大学で巡回展示を実施。

「BROKEN PROMISES」ウェブページ：<https://brokenpromisesjapan.com/news/broken-promises/>



本件に関する問い合わせ

京都外国語大学 総合企画部 [担当:千葉・古谷]
〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
TEL:075-322-6038 E-mail:kikaku@kufs.ac.jp

発信元・取材申し込みに関するお問い合わせ

京都外国語大学 入試広報部 [担当:中川・杉峯・岩本]
〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
TEL:075-322-6035 E-mail:nyushi@kufs.ac.jp

入場
無料

BROKEN PROMISES

破られた約束

太平洋戦争下の日系カナダ人

日系カナダ人の財産没収

誰かがあなたの家や持ち物、自由を奪ってしまうことを
想像してみてください。

1942 年カナダ政府は、21,460 人の日系カナダ人を
ブリティッシュ・コロンビア州沿岸部から強制的に立ち退かせました。
日系人は、自分の手で持ち運べるものだけ持って列車に乗り込み
カナダ政府は、残されたものは政府が保護すると約束しました。
しかし実際には、日系カナダ人の財産は取り上げられ
すべてが、盗まれるか売り払われたのです。

同時展示

監修・制作：松田法子研究室（京都府立大学）

三尾の民家建築とカナダ移民

The Folk Dwellings of Mio and Migration to Canada

和歌山県日高郡美浜町の漁村・三尾集落では、
明治期以降、多数のカナダ移民を送り出してきました。
初期の移民たちは単身の男性漁業者が多く、
現在三尾に残る家々は、彼らが家族と余生を過ごすため、
カナダでの稼ぎを注いで建てたものが大半です。
この展示では、そのような固有の近現代史と共にある
三尾集落の民家建築に注目します。
風が強い三尾の土地柄から工夫された、
軒が低くて重厚な屋根をもつ伝統形式の民家と、
カナダでの生活様式が反映された洋風の住宅からなる家々。
三尾ならではの、民家建築の世界をお楽しみください。



京都外国語大学 会場

2024 年
10月1日(火)~10月16日(水)

〒615-8558
京都市右京区西院笠目町 6
1 号館 1 階南側通路 展示スペース
TEL 075-322-6038 (総合企画部企画課)



会場アクセスについては
◀こちらから▶

同志社大学 会場

2024 年
11月22日(金)~12月24日(火)

〒602-8580
京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学今出川キャンパス
ハリス理化学館同志社ギャラリー 2 階
企画展示室
TEL 075-251-271



会場アクセスについては
◀こちらから▶

主 催

「Broken Promises 破られた約束」日本巡回展示実行委員会

共 催

科学研究費基盤研究 (B) 「出移民史を通じた次世代育成のための地域密着型パブリック・ヒストリーの構築」
同志社大学アメリカ研究所部門研究 3 「Transient Subjects/Unsettled Settlers」

協 力



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies



同志社大学
Doshisha University

特定非営利活動法人日ノ岬・アメリカ村 美浜町役場



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies

そよかぜ班

日本の開国から約 150 年
現在まで多くの人が海外へと移住しています
留学先として人気のカナダへも多くの日本人が移住した歴史があり
1877 年以降 特に滋賀県や和歌山県から多くの人々が移住しました
私たちは カナダ移民を輩出した移民母村の和歌山県美浜町三尾地区を拠点に
カナダ移民史の次世代継承活動を目的とした研究活動を続けています。

—継承活動—

- ・ カナダ研修用移民資料作成
- ・ パンフレット作成
- ・ 京都外大西高校への平和学習ワークショップ

—地域連携活動—

- ・ 国際シンポジウムや滋賀平和祈念館で研究発表
- ・ 現地でのインタビュー
- ・ 地域の方や他大学との交流
(和歌山大・大正大・京都府立大など)
- ・ 甲南大 Stan Kirk 先生との研究交流
- ・ ゼミ合宿

—今後の活動予定—

- ・ 三尾のカナダミュージアムでのパネル展示
- ・ 美浜町立松洋中学校にて平和学習ワークショップ
- ・ 追手門学院大との合同ゼミ

パネル展示

Soyokaze

～三尾からカナダへ、100 年先へつなぐ物語～

場 所 カナダミュージアム（和歌山県美浜町三尾） 期 間 9/28～10/27（10:00～16:00・火曜日休館日）

三尾とカナダを結ぶ歴史を紹介します。

約 100 年前に三尾からカナダに移住した松永さんご一家の物語を通じて
戦時中の暮らしや日系カナダ人の苦難を伝えるとともに、現在に至る両国のつながりを考察します。